

《そう合問題7》

いろいろなしゅるいの文章問題をといてみよう。問題をとくときは、本文をよく読み、内ようをしつかり理かいることが大切です。

【例題】

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

コトネの家の近くに、この前、新しいケーキ屋さんがありました。お母さんが、そのお店のケーキを買ってきてくれたので、二人でおやつに食べています。

（お母さん） このお店のケーキ、とってもおいしいって、ケント君のお母さんが教えてくれたのよ。それで、買ってきたの。

（コトネ） うれしい。とってもおいしいね。ごはんが全部、ケーキとか、おかしだったらいいのに。ケーキやおかしでも、おなががいっぱいになるでしょう。ねえお母さん、それじゃだめなの。

（お母さん） その気持ちは分かるけど、ざんねんだけど、そうはいかないのよ。

（コトネ） どうして。

（お母さん） 毎日のごはんって、お米とか、お肉とか、野菜

とか、いろいろ食べるでしょう。食べる物によって、体に入ってくるえいようがちがうのよ。

（コトネ） どういうこと。

（お母さん） たとえば、おなががすくと、力が出ないでしょう。それは、エネルギーが切れるからなの。その

エネルギーは、お米やパンやケーキからとるのよ。じゃあ、ケーキでいいじゃない。

（コトネ）

（お母さん） そうでもないのよ。いくらエネルギーをとつても、体の部品がしっかりしていないと、調子が整

わないのよ。体の部品って何なの。

（コトネ）

（お母さん） そうね。たとえば、きん肉って、聞いたことがあるでしょう。うでのこのへんとか、足のこのへんとか、力を入れたときにかたくなる所。

（コトネ）

知ってる。

（お母さん）

きん肉は、体を動かすときに、はたらくものの。これがないと体は動かないのよ。これから大きくなるために、食べた物からきん肉を作るひつようがあるのよ。

（コトネ）

そうなんだ。

（お母さん）

きん肉を作るためのえいようは、ケーキには少なくて、お肉や魚やたまごには、たっぷり入っているのよ。

(1) 毎日のごはんでは、いろいろな物を食べますが、食べる物によって何がちがいますか。空らんにあてはまる言葉^ばを、本文中からぬき出そう。

食べる物によって、

がちがう。

(2) 本文の内ようと合っているものを、次のア～エからえらぼう。

ア きん肉は、体に入ってきた、お米のえいようから作られる。

イ きん肉は、わたしたちが、体を動かすためのエネルギーになる。

ウ 大きくなるために、食べた物からきん肉を作るひつようがある。

エ きん肉を作るためのえいようは、ケーキにたくさん入っている。

【答え】

(1) 食べ物によって、

い	体					
よ	に					
う	入	っ	て	く	る	え
		が	ち	が	う	

(2) ウ

【かいせつ】

(1) お母さんの言葉に、「食べる物によって、体に入ってくるえいようがちがうのよ。」とある。

(2) お母さんの言葉に、「これから大きくなるために、食べた物からきん肉を作るひつようがあるのよ。」とあるので、ウが本文の内ようと合っている。

ア…お米は、エネルギーをとるための、食べ物の「れい」である。

イ…お母さんの言葉に、「きん肉は、体を動かすときには、はたらくもののなの。」とある。

エ…お母さんの言葉に、「きん肉を作るためのえいようは、ケーキには少なくて」とある。

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

コトネは、お母さんと話をしています。

(コトネ) ねえ、お母さん。頭がよくなるためのえいようつて、どんな食べ物に入ってるの。

(お母さん) そうねえ。何に入っているかは知らないけど、やっぱり、けんこうで、頭をよく使うことが大切なんじゃないかしら。

(コトネ) そうかあ。

(お母さん) ほら、体つて、よく使う所がきたえられるでしょ。だから、何かのスポーツをやっている人つて、他のスポーツも上手でしょう。

(コトネ) うん。頭もそうなのかなあ。

(お母さん) そう思うわ。そういえば、頭を使うのは、勉強だけじゃないのよ。指先を使う細かい作業は、頭のはたらきをよくするんだって。指先には神けいがたくさんあるから、指先を使うと、頭もはたらくらしいわよ。

そのばん、みんなでごはんを食べながら、コトネは、お父さんに聞きました。

(コトネ) ねえ、お父さん。昼間お母さんと、頭がよくなるえいようつて、どんな食べ物に入っているのか

なあって話していたんだけど、何か知ってる。

(お父さん) 頭にいいと思われている食べ物があるみたいだけど、まだよく分からないみたいだよ。

(コトネ) そうなんだ。さんねん。じゃあ、指先を使うと、頭がよくなるって本当なの。

(お父さん) そうかもしれないね。神けいが発たつするのは子どものときだから、小さいうちに、いろいろな方法で頭を使うといいだろうね。

(お母さん) いろいろな方法って何かしら。

(お父さん) たとえば、スポーツ。スポーツできたえられるのは、体のきん肉だつて思うだろう。でも、頭もきたえられるんだよ。

(コトネ) えっ、どうして。

(お父さん) 体を動かすときは、頭がきん肉に命れいを出しているんだ。しかもスポーツでは、短い時間に、すぐに次の動きにうつるから、その短い時間で考えないといけないんだ。

(コトネ) 本当だ。

(お父さん) よくねて、えいようをとつて、勉強したり、運動したり、遊んだりするのがいちばんだよ。それに、とくべつなことなんて、やってもつづかないだろう。

それならできそうだと、コトネは安心したのでした。

(1) お母さんの考えについて、次の問いに答えなさい。

A 体は、どのような所がきたえられますか。

--

所。

B 指先を使う細かい作業が、頭のはたらきをよくするのは、なぜですか。本文中から十六字でぬき出そう。

(2) お父さんは、スポーツできたえられるものは、何だと言いましたか。二つ答えよう。

--	--

(3) 体を動かすとき、何が、何に命れいを出しますか。次のア～エからえらぼう。

- ア 頭が、きん肉に命れいを出す。
- イ きん肉が、頭に命れいを出す。
- ウ 神けいが、きん肉に命れいを出す。
- エ 頭が、神けいに命れいを出す。

--

(4) お父さんが、頭をよくするために、よいと考えていないものを、次のア～オからえらぼう。

- ア よくねること。
- イ 勉強すること。
- ウ えいようをとること。
- エ とくべつなことをすること。
- オ 運動すること。

--

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

コトネとお母さんは、駅でお父さんを待っています。今日は、お母さんのたん生日なので、三人でレストランへ行くやくそくをしています。

(コトネ) お父さん、早く来ないかなあ。もしかしたら、仕事が終わるのが、おそくなっているのかな。

(お母さん) それなら電話をくれるから、だいじょうぶよ。あつ、電話。お父さんからだわ。もしもし。はい、分かりました。あと五分くらいで来られるって。

(コトネ) よかったあ。

(お母さん) 今は、けいたい電話があるから、待ち合わせも楽よね。昔は、たいへんだったと思うの。

(コトネ) そうだよね。その場所へ行くのがおそくなるとき、電話できないもんね。

(お母さん) そうね。コトネは、けいたい電話を持っていなけれど、友だちと待ち合わせをするときに、こまったことはあるの。

(コトネ) いつも、家の近くで待ち合わせるから、こまったことはないなあ。

(お母さん) それならよかったわ。でも、もし、家からはなれた所で待ち合わせをして、時間どおりに相手に会えないとするでしょう。そうすると、場所がち

がうかなあとか、時間をまちがえたかなあとか、だんだん心配になってくるわよね。

(コトネ) うん。

(お母さん) さがしに行きたいけど、他の場所に行っている間に相手が来たらと思うと、それもできないで

しょ。① そんなときお父さんは、動き回らずに、待ち合わせの場所についてね、って言うのよ。

(コトネ) そうなんだ。でも、今は、けいたい電話があるから、心配いらないね。

(お母さん) そう思うでしょう。でも、たまに、けいたい電話を家におきわすれることや、電池が切れることや、電波がとどかないことがあるのよ。

(コトネ) それって、② ときどきするね。

二人で話しているうちに、お父さんがやってきました。さあ、三人で、お母さんのたん生日をお祝いしましょう。

(一) コトネとお母さんが、駅でお父さん待っているのは、なぜですか。()にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

今日は(A)なので、三人で(B)へ行く(C)をしたから。

(2) 友だちと待ち合わせをするとき、コトネが、けいたい電話を持っていなくてもこまらないのは、なぜですか。空らんにあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

から。

友だちとは、いつも、	
で	

C

B

A

(3) —①線部「そんなとき」とは、どんなときですか。次のア～ウからえらぼう。

- ア 待ち合わせ時間に、相手に会えないとき。
 イ 待ち合わせ場所が、ちがうと気づいたとき。
 ウ 待ち合わせ時間に、自分が間に合わないとき。

--

(4) —②線部「どきどきする」とありますが、これはどのような気持ちですか。次のア～エからえらぼう。

- ア うれしい気持ち。
 イ ふあんな気持ち。
 ウ 楽しい気持ち。
 エ まんぞくな気持ち。

--

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

コトネは、お母さんと話をしています。

(コトネ) ねえ、お母さん。頭がよくなるためのえいようつて、どんな食べ物に入ってるの。

(お母さん) そうねえ。何に入っているかは知らないけど、やっぱり、けんこうで、頭をよく使うことが大切なんじゃないかしら。

(コトネ) そうかあ。

(お母さん) ほら、体つて、よく使う所がきたえられるでしょ。だから、何かのスポーツをやっている人つて、他のスポーツも上手でしょう。

(コトネ) うん。頭もそうなのかなあ。

(お母さん) そう思うわ。そういえば、頭を使うのは、勉強だけじゃないのよ。指先を使う細かい作業は、頭のはたらきをよくするんだって。指先には神けいがたくさんあるから、指先を使うと、頭もはたらくらしいわよ。

そのばん、みんなでごはんを食べながら、コトネは、お父さんに聞きました。

(コトネ) ねえ、お父さん。昼間お母さんと、頭がよくなるえいようつて、どんな食べ物に入っているのか

なあって話していたんだけど、何か知ってる。

(お父さん) 頭にいいと思われている食べ物があるみたいだけど、まだよく分からないみたいだよ。

(コトネ) そうなんだ。ざんねん。じゃあ、指先を使うと、頭がよくなるって本当なの。

(お父さん) そうかもしれないね。神けいが発たつするのは子どものときだから、小さいうちに、いろいろな方法で頭を使うといいだろうね。

(お母さん) いろいろな方法って何かしら。

(お父さん) たとえば、スポーツ。スポーツできたえられるのは、体のきん肉だつて思うだろう。でも、頭もきたえられるんだよ。

(コトネ) えっ、どうして。

(お父さん) 体を動かすときは、頭がきん肉に命れいを出しているんだ。しかもスポーツでは、短い時間に、すぐに次の動きにうつるから、その短い時間で考えないといけないんだ。

(コトネ) 本当だ。

(お父さん) よくねて、えいようをとつて、勉強したり、運動したり、遊んだりするのがいちばんだよ。それに、とくべつなことなんて、やってもつづかないだろう。

それならできそうだと、コトネは安心したのでした。

(1) お母さんの考えについて、次の問いに答えなさい。

A 頭がよくなるためには、どのようなことが大切ですか。()にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

(①)で、(②)ことが大切である。

②

①

B 勉強することの他に、どのようなことが、頭のはたらきをよくしますか。本文中から十字でぬき出そう。

(2) 体を動かすとき、何が、何に命れいを出しますか。

()にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

(①)が、(②)に命令を出す。

②

①

(3) お父さんが、頭をよくするために、よいと考えていないものを、次のア～オからえらぼう。

- ア 運動すること。
- イ とくべつなことをすること。
- ウ 勉強すること。
- エ よくねること。
- オ えいようをとること。

つぎ 次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

コトネとお母さんは、駅えきでお父さんまを待っています。今日は、お母さんのたん生日なので、三人でレストランへ行
くやくそくをしています。

（コトネ）
お父さん、早く来ないかなあ。もしかしたら
仕事しごとが終わるのが、おそくなっているのかな。

(お母さん) それなら電話をくれるから、だいじょうぶよ。あつ、電話。お父さんからだわ。もしもし。はい、分かりました。あと五分くらいで来られるって。

よかつたあ。

（お母さん）
今は、けいたい電話があるから、待ち合わせも
楽よね。昔は、たいへんだったと思うの。

き、電話できないもんね。

（お母さん）
そうね。コトネは、けいたい電話を持っていな
いけど、友だちと待ち合わせをするときに、こまっ
たことはあるの。

（コトネ）　いつも、家の近くで待ち合わせるから、こまづたことはないなあ。

（お母さん）
それならよかったわ。でも、もし、家からはなれた所で待ち合わせをして、時間どおりに相手に会えないとすうでしよう。そうすると、場所がち

がうかなあとか、時間をまちがえたかなあとか
だんだん心配ばいになつてくるわよね。
うん。

（お母さん） さがしに行きたいけど、他の場所に行っている間に相手が来たらと思うと、それまでできないでしよ。そんなときお父さんは、動き回らずに、待ち合わせの場所にいてね、って言うのよ。

（コトネ） そうなんだ。でも、今は、けいたい電話があるから、心配いらないね。

(お母さん)　そう思うでしょう。でも、たまに、けいたい電話を家におきわすれることや、電池が切れることや、電波がとどかないことがあるのよ。

それって、どきどきするね。

二人で話しているうちに、お父さんがやってきました。さあ、三人で、お母さんのたん生日をお祝いしましょう。

(一) コトネは、どこで、何をしていますか。空らんにあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

[illegible]

(2) 昔、待ち合わせをするときにたいへんだったのは、なぜですか。()にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

待ち合わせの場所へ行くのが(①)ときに、待ち合わせをした相手に、(②)ができないから。

②	①

(3) 待ち合わせをした相手と、時間どおりに会えないときについて、次の問いに答えなさい。

A お母さんは、どう思いましたか。次のア～エから、あてはまらないものをえらぼう。

ア 場所がちがうのかなあ。

イ 時間をまちがたのかなあ。

ウ さがしに行っているうちに来たらどうしよう。

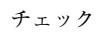
エ 待っていれば来るからだいじょうぶ。

--

B お父さんは、お母さんに、どうしてほしいと言いましたか。空らんにあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

	に、
にいて	

ほしい。





(2) コトネが、やさしくしてもらうことと同じくらい、うれしいと感じたのは、どんなことですか。次のア～エからえらぼう。

- ア 友だちに元気に話しかけること。
- イ 「ありがとう」と言われること。
- ウ 消しゴムをかしてもらえたこと。
- エ 友だちとなか直りすること。

--

(3) コトネは、だれのそばにいと、元氣になれると言いましたか。次のア～オから二つえらぼう。

- ア ケンタさん
- イ お母さん
- ウ コウキさん
- エ 消しゴムをかした友だち
- オ おじいさん

(4) 線部「そんな人」とは、どんな人ですか。「人」につづくように、本文中から十五字でぬき出そう。

人。



次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。なお、句読点や記号は一字として数えます。

コトネはお母さんに、クラスの友だちのことを話しています。

(コトネ) お母さん。同じクラスのケンタさんがね、この

前、横だん歩道をわたれなくて、こまっているおじいさんを、助けていたの。はたを持って車に止まってもらって、いっしょにわたっていたんだ。

(お母さん) えらいわね。大人でも、なかなかできないかもしれないわ。

(コトネ) そうでしょう。いつもみんなにやさしいのよ。

(お母さん) やさしい友だちっていいわね。コトネは、友だちにやさしくしてあげてるの。

(コトネ) うん。この前、消しゴムをわすれた人にかしてあげたの。筆箱に、二こ入っていたんだ。

(お母さん) そう。コトネもえらいわね。

(コトネ) やさしくしてもらうのもうれしいけど、「ありがとう」って言われるのも、同じくらいうれしいよね。

(お母さん) そうね。

(コトネ) それから、コウキさんって知ってるよね。

(お母さん) 知っているわよ。

(コトネ) コウキさんは、いつも元気いっぱいだから、いっ

しょにいと元気になるの。

(お母さん) そうなのね。

(コトネ) 友だちと、ちょっとけんかしたとき、悲しくなるでしょう。でも、コウキさんが近くで元気に話していると、悲しい気持ちが消えていく気がするの。友だちにあやまって、元気になるうって思うの。友だちを元気にすることができるなんて、すてきだと思わない。

(お母さん) 本当ね。コトネも、そんな人になれたらいいわね。

(コトネ) うん。あつ、わたし、お母さんのそばにいるときも、元気になるよ。

(お母さん) そう。ありがとう。

二人は、顔を見合わせてわらいました。

(一) ケンタさんは、どのようにして、おじいさんを助けましたか。() にあてはまる言葉を、本文中からぬき出そう。

(一) ①) を持って車に止まってもらい、おじいさんといっしょに、(②) をわたった。

①

②

